

DATA FILE

関連事項 / DATA

公益財団法人 日本農業研究所
〒102-0094
東京都千代田区紀尾井町3番29号
☎ 03 (3262) 6531 (代)

北海道信用農業協同組合連合会
〒060-0004
札幌市中央区北4条西1丁目1番地
☎ 011 (232) 6010

北海道更別農業高等学校
〒089-1501
河西郡更別村字更別基線95
☎ 0155 (52) 2362

厚沢部町役場
〒043-1113
檜山郡厚沢部町新町207番地
☎ 0139 (64) 3311

一般社団法人 北海道地域農業研究所
〒060-0806
札幌市北区北6条西1丁目4番地2
☎ 011 (757) 0022
Fax 011 (757) 3111
HP : <http://www.chiikinouken.or.jp>
E-mail : office47@chiikinouken.or.jp



後編 集記

◆令和二年はコロナで始まり、コロナで終わる年となったが、年が明けても感染猛威は収まらず、日本中で混乱、疲弊が続いている。日本独自の感染対策も第三波では通用せず、自助頼みにも限界が来ている。感染症が治まる時に用いられる表現には、「終息」と「収束」がある。ウイルスが根絶されることや、ワクチンが広く行き渡るなどで新規感染者がなくなるような完全制圧であれば「終息」。ウイルスが弱毒化することや、ワクチン・感染で多くの人々が免疫を獲得し、感染状況や社会情勢が落ち着いてきたら「収束」と区別されるようだ。一年たっても未だ収束にはほど

遠く、もうワクチン頼みしかないのだろうか。◆行政手続きでの押印廃止が政府から発出され、脱ハンコ化が進められている。加えて、デジタル庁の設置も計画され、行政手続きのデジタル化も検討されている。コロナ禍がその動きを加速した感もあるが、オンライン化など利便さは格段とアップ

しそうだ。すでに、あらゆる場面でデジタル技術の活用が試行・実装され始めているが、その更なる進展で、社会や経済、産業構造をも変革するデジタルトランスフォーメーションを巻き起こす期待が高まっている。◆今年の干支である牛は、農耕や酪農、食用として昔から人々の生活の支えともなり、おっとりしているように見えても堅実に物事を進め、成長を続けることができる生き物とされてきた。そのことから、うし年は我慢や発展の前触れを表す年と言われる。もう十二分に耐え忍んできているので、そろそろ起き上がり少しずつ前へ進み、全集中で新たな飛躍につなげる年となることを期待したい。

(片岡 省二)